

## 第6章 循環利用量の推移等

### 6.1 循環利用量と素材産業

平成20年度の循環利用量24,449万トンと、鉄鋼業、非鉄精錬、セメント産業、製紙業の4産業が利活用している廃棄物・副産物量を整理する表6-1-1のとおりであり、この4産業は循環利用量の39.7%を担っている。

産業別にみると、鉄鋼業が15.8%、非鉄精錬が0.7%、セメント産業が12.6%、製紙業が10.6%となっている。

表6-1-1 循環利用量と素材産業

(単位:万t/年)

種類	廃棄物・副産物活用量(2007)						我が国全体 (2007) 循環量 (b)
	鉄鋼	非鉄精錬	セメント	製紙	4産業計 (a)	4産業のシェア (a/b)	
燃え殻/ばいじん	0	37	843	0	880	57.3%	1,536
汚泥	0	13	338	0	350	20.5%	1,708
廃油	0	15	48	9	72	38.4%	187
廃酸/廃アルカリ	0	25	0	0	25	11.1%	229
廃プラスチック類	37	33	56	47	172	44.4%	388
紙くず	0	0	0	2,332	2,333	102.2%	2,282
木くず	0	0	32	128	160	36.7%	436
動植物性残さ/食品廃棄物/厨芥	0	0	7	0	7	1.5%	461
金属類	3,825	2	0	0	3,827	90.4%	4,233
ガラス陶磁器くず	0	2	0	0	2	0.3%	630
銻さい、スラグ	0	1	1,413	0	1,413	27.1%	5,208
その他	0	50	336	76	462	6.5%	7,151
活用量計	3,862	177	3,072	2,593	<b>9,704</b>		<b>24,449</b>
4産業のシェア(a/b)	15.8%	0.7%	12.6%	10.6%		<b>39.7%</b>	

注) 製紙業においては、ペーパーラジの燃料利用量は含まれていない。

- 1) 鉄鋼(廃プラスチック類)、非鉄精錬、セメントの廃棄物・副産物は、環境自主行動計画〔循環型社会形成編〕-2008年度フォローアップ調査結果<個別業種版>、pp20, pp23, pp45、社団法人日本経済団体連合会より引用
- 2) 鉄鋼(金属類)の廃棄物・副産物は、銻鉄及び鉄スクラップ需給実績(社団法人日本鉄源協会)より、鉄屑需給の供給のうち国内市中分を計上した。
- 3) 製紙(紙くず)の廃棄物・副産物は、2008年古紙需給統計(財団法人古紙再生促進センター)の、古紙回収率推移(表3)の古紙回収量を計上した。
- 4) 製紙の廃棄物・副産物は、環境自主行動計画〔温暖化対策編〕-2008年度フォローアップ調査結果(2007年度実績)<個別業種版>、pp74、社団法人日本経済団体連合会より引用

### 6.2 廃棄物別の循環利用量の推移

平成12年度から平成19年度までの再生利用量、減量化量、最終処分量、自然還元量の推移について、廃棄物別に以下に整理した。

(1) バイオマス系の循環利用量の推移

① 紙くず

紙くずの循環利用量等は、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計と古紙に関するその他の統計データから推計されている。

なお、産業廃棄物統計では、紙くずが有償物化することで産業廃棄物統計データから除外されるため減少となっているが、この減少分は、古紙に関するその他の統計データから補完されるため、全体では、平成13年度以降、排出量、再生利用量とも微増傾向となっている。

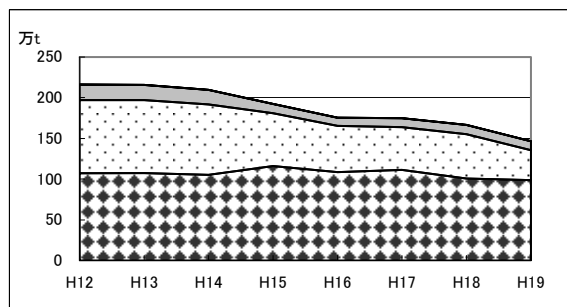
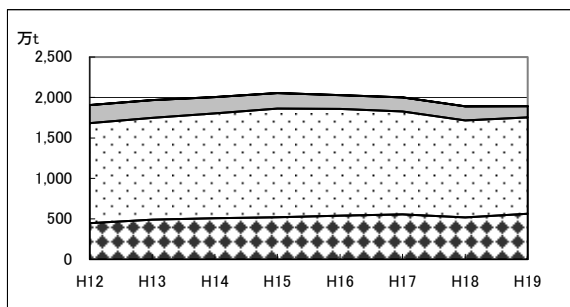
図表 6-2-1 紙くずの循環利用量等の推移

(単位: 万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率	構成比
一 廃 統 計	排 出 量	1,904	1,968	2,004	2,053	2,028	2,001	1,890	1,892	100%	52%
	再 生 利 用 量	448	489	507	522	540	554	516	565	30%	25%
	減 量 化 量	1,236	1,260	1,297	1,341	1,319	1,275	1,199	1,188	63%	97%
	最 終 処 分 量	221	220	200	191	169	172	175	139	7%	92%
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
産 業 統 計	排 出 量	216	216	210	192	176	175	166	147	100%	4%
	再 生 利 用 量	107	107	105	116	109	111	101	99	67%	4%
	減 量 化 量	90	90	87	65	57	52	54	36	25%	3%
	最 終 処 分 量	19	19	18	11	10	11	11	11	8%	8%
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 統 計	排 出 量	1,749	1,347	1,399	1,441	1,464	1,452	1,597	1,591	100%	44%
	再 生 利 用 量	1,749	1,347	1,399	1,441	1,464	1,452	1,597	1,591	100%	161%
	減 量 化 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最 終 処 分 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	排 出 量	3,869	3,531	3,613	3,686	3,668	3,627	3,654	3,629	100%	100%
	再 生 利 用 量	2,304	1,943	2,012	2,078	2,113	2,117	2,214	2,255	62%	100%
	減 量 化 量	1,326	1,349	1,384	1,406	1,375	1,327	1,253	1,224	34%	100%
	最 終 処 分 量	240	238	217	202	180	183	187	150	4%	100%
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

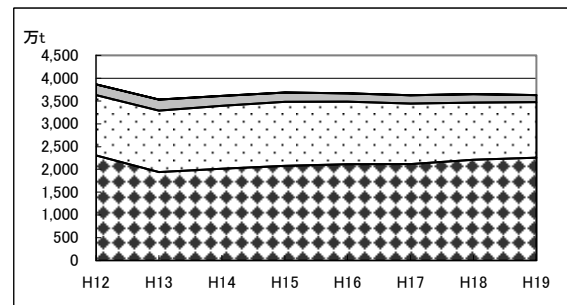
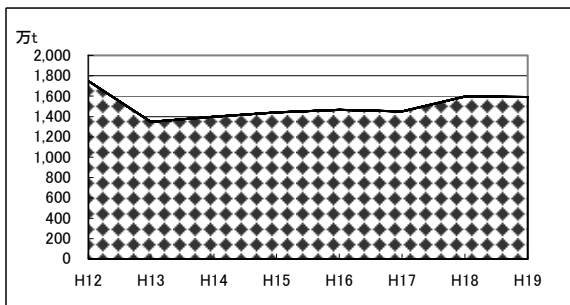
〔一般廃棄物統計〕

〔産業廃棄物統計〕



〔その他の廃棄物統計〕

〔全体〕



■ 最終処分量    ▨ 減量化量    ▩ 再生利用量

注) 〔その他の廃棄物統計〕 データは、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

②厨芥、動植物性残さ

厨芥、動植物性残さの循環利用量等は、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計と食品リサイクルに関するその他の統計データから推計されている。

なお、食品リサイクルに関するその他の統計データによる補完は、平成14年度から行われている。排出量は減少傾向にあるが、再生利用量は増加傾向となっている。

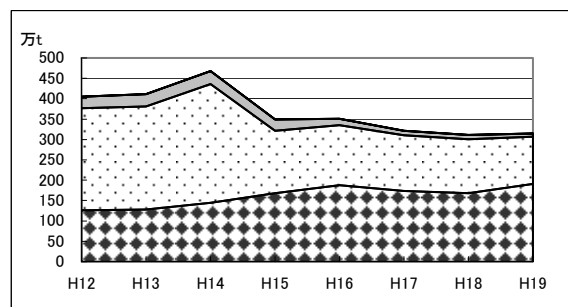
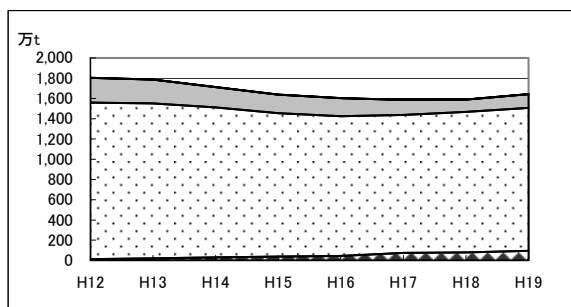
図表 6-2-2 厨芥、動植物性残さの循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率	構成比
一般統計	排出量	1,804	1,787	1,713	1,638	1,604	1,587	1,589	1,643	100%	77%
	再生利用量	13	21	30	38	46	76	79	94	6%	20%
	減量化量	1,545	1,530	1,481	1,418	1,379	1,362	1,388	1,413	86%	92%
	最終処分量	246	236	202	183	179	149	123	136	8%	95%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
産業統計	排出量	405	411	468	349	351	321	311	314	100%	15%
	再生利用量	126	128	145	168	188	174	168	191	61%	41%
	減量化量	251	253	291	153	147	136	133	116	37%	8%
	最終処分量	28	30	32	28	16	11	11	8	2%	5%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他統計	排出量	0	0	132	146	151	174	251	176	100%	8%
	再生利用量	0	0	132	146	151	174	251	176	100%	463%
	減量化量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最終処分量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	排出量	2,209	2,198	2,314	2,133	2,106	2,082	2,151	2,134	100%	100%
	再生利用量	139	149	307	351	385	424	497	461	22%	100%
	減量化量	1,796	1,783	1,773	1,572	1,527	1,499	1,520	1,529	72%	100%
	最終処分量	274	266	234	210	195	160	134	144	7%	100%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

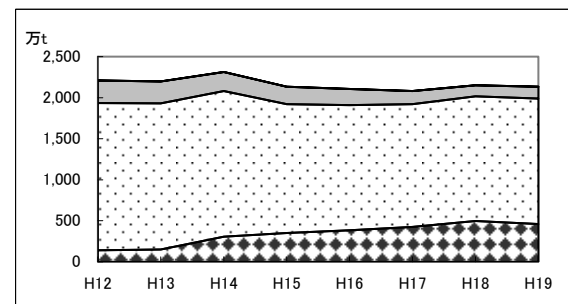
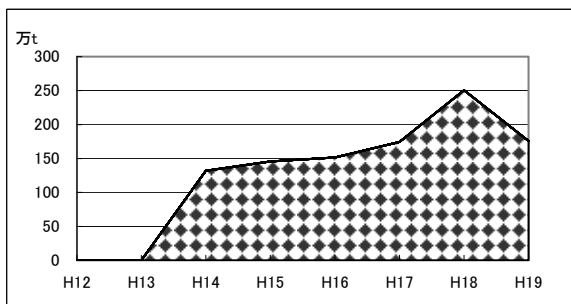
〔一般廃棄物統計〕

〔産業廃棄物統計〕



〔その他の廃棄物統計〕

〔全体〕



■ 最終処分量    ▨ 減量化量    ▩ 再生利用量

注) 〔その他の廃棄物統計〕データは、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

③木竹草、木くず

木竹草、木くずの循環利用量等は、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計から推計されている。  
 全体では、平成14年度以降、排出量及び再生利用量とも増加傾向となっている。

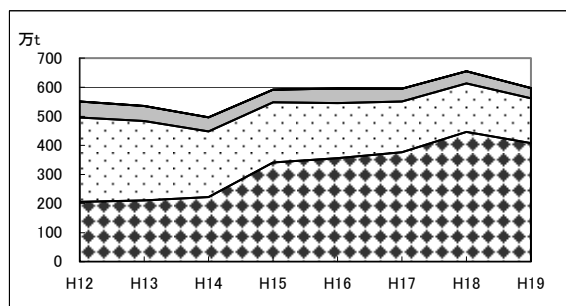
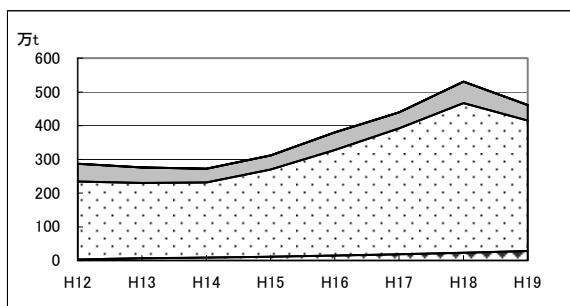
図表 6-2-3 木竹草、木くずの循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率	構成比
一般統計	排出量	287	276	272	312	380	439	530	461	100%	44%
	再生利用量	3	7	9	11	16	18	23	29	6%	7%
	減量化量	231	223	223	259	312	374	444	387	84%	71%
	最終処分量	53	46	41	42	52	47	63	46	10%	57%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
産業統計	排出量	551	536	496	592	596	595	655	597	100%	56%
	再生利用量	206	211	223	341	356	377	447	408	68%	93%
	減量化量	290	272	226	207	190	174	166	155	26%	29%
	最終処分量	55	52	48	43	51	45	42	35	6%	43%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	排出量	838	811	768	903	976	1,034	1,185	1,058	100%	100%
	再生利用量	209	218	231	353	371	395	470	436	41%	100%
	減量化量	521	495	449	466	502	548	610	541	51%	100%
	最終処分量	108	98	88	85	103	92	105	81	8%	100%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

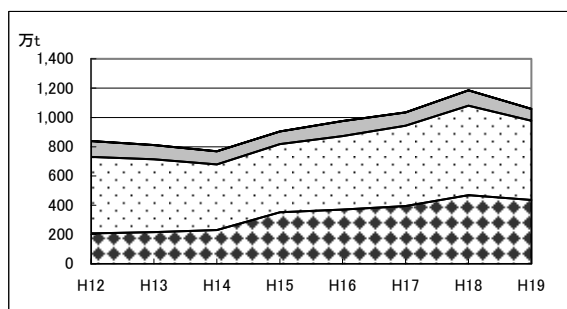
〔一般廃棄物統計〕

〔産業廃棄物統計〕



■ 最終処分量    □ 減量化量    ◐ 再生利用量

〔全体〕



④繊維くず

繊維くずの循環利用量等は、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計とその他の統計データから推計されている。

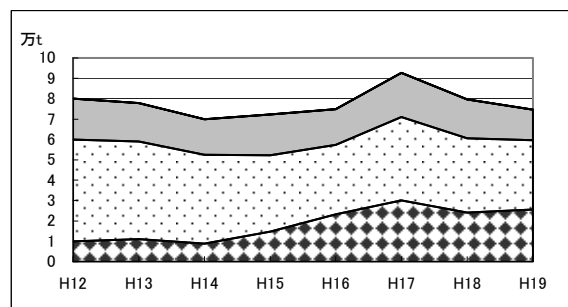
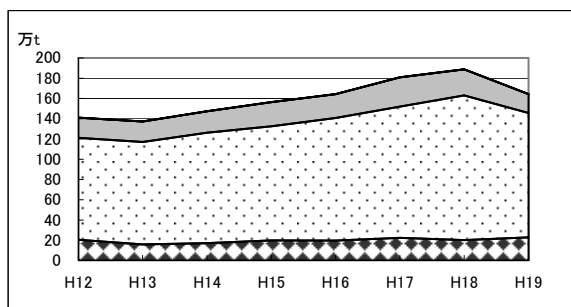
繊維くずの排出量は、全体の95%が一般廃棄物統計である。再生利用量は横ばいとなっている。

図表 6-2-4 繊維くずの循環利用量等の推移

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	(単位:万t)	
										処理率	構成比
一 廃 統 計	排 出 量	141	137	148	156	169	181	189	164	100%	95%
	再 生 利 用 量	20	16	17	20	20	22	20	23	14%	84%
	減 量 化 量	101	101	109	113	121	130	143	123	75%	97%
	最 終 処 分 量	20	20	21	24	24	29	26	19	11%	93%
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
産 業 廃 棄 統 計	排 出 量	8	8	7	7	7	9	8	7	100%	4%
	再 生 利 用 量	1	1	1	1	2	3	2	3	34%	9%
	減 量 化 量	5	5	4	4	3	4	4	3	45%	3%
	最 終 処 分 量	2	2	2	2	2	2	2	2	20%	7%
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 統 計	排 出 量	6	5	7	5	4	0	7	2	100%	1%
	再 生 利 用 量	6	5	7	5	4	0	7	2	100%	638%
	減 量 化 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最 終 処 分 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	排 出 量	155	150	161	169	180	190	203	174	100%	100%
	再 生 利 用 量	27	22	25	26	26	25	29	27	16%	100%
	減 量 化 量	106	106	113	116	125	134	147	126	73%	100%
	最 終 処 分 量	22	22	23	26	25	31	28	20	12%	100%
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

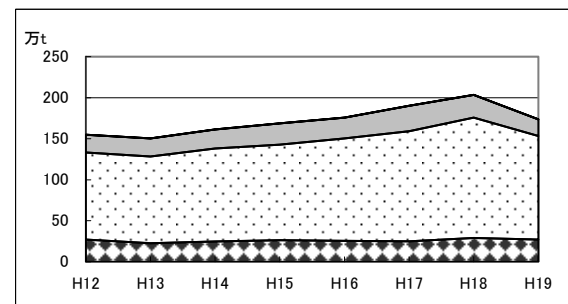
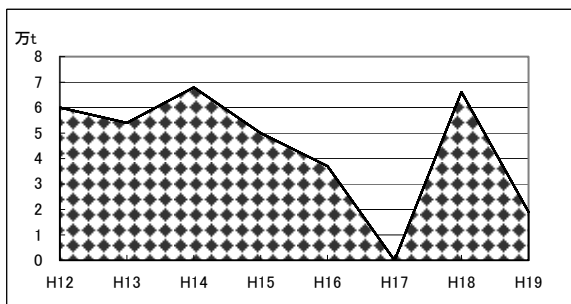
〔一般廃棄物統計〕

〔産業廃棄物統計〕



〔その他の廃棄物統計〕

〔全体〕



■ 最終処分量    □ 減量化量    ◻ 再生利用量

注) 〔その他の廃棄物統計〕 データは、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

⑤下水汚泥

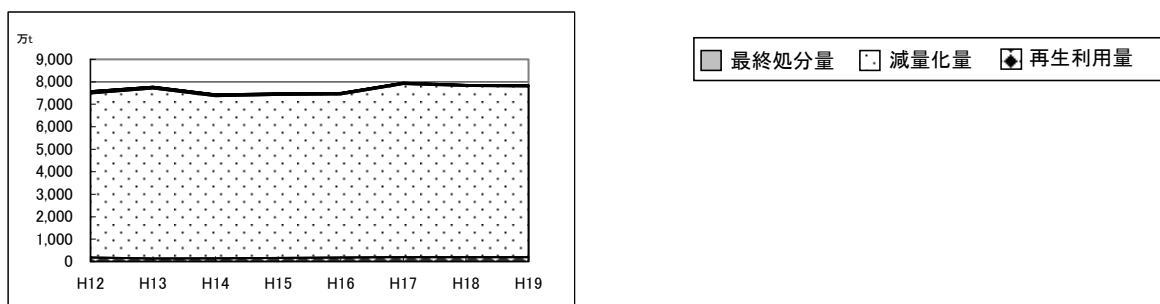
下水汚泥の排出量は、ここ数年横ばいとなっており、また、再生利用量もほぼ横ばいとなっている。なお、最終処分量は減少傾向となっている。

図表 6-2-5 下水汚泥の循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率
産業統計	排出量	7,580	7,786	7,436	7,484	7,507	7,961	7,866	7,840	100%
	再生利用量	191	147	157	163	175	207	196	204	3%
	減量化量	7,294	7,554	7,206	7,250	7,269	7,698	7,626	7,596	97%
	最終処分量	95	85	74	71	64	56	44	40	1%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-

〔産業廃棄物統計〕



⑥し尿

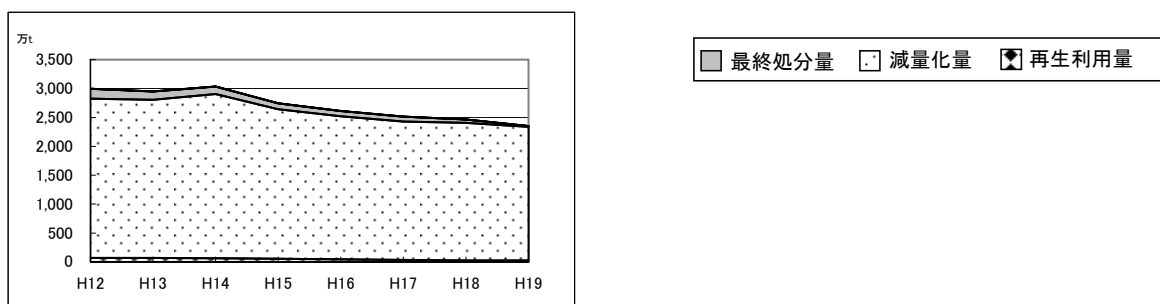
し尿の排出量は、減少傾向にある。最終処分量は、平成 19 年度で海洋投入処分がなくなったことから、大幅に減少となった。

図表 6-2-6 し尿の循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率
一般統計	排出量	2,997	2,949	3,034	2,745	2,613	2,515	2,465	2,350	100%
	再生利用量	70	71	62	55	50	31	25	27	1%
	減量化量	2,755	2,734	2,843	2,585	2,469	2,398	2,383	2,310	98%
	最終処分量	172	144	129	105	93	85	57	13	1%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-

〔一般廃棄物統計〕



⑦ ゴムくず

ゴムくずの循環利用量等は、産業廃棄物統計より推計されている。

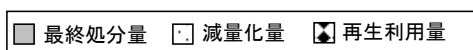
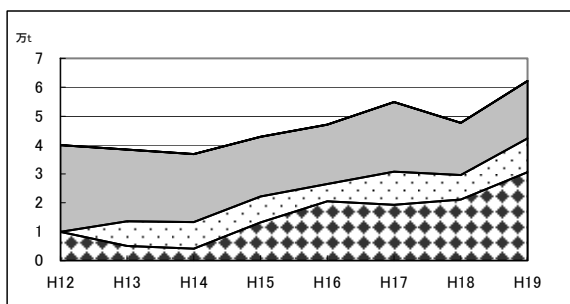
ゴムくずの排出量は、横ばいである。再生利用量は平成 16 年度以降、横ばいとなっている。

図表 6-2-7 ゴムくずの循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率	
産業統計	排出量	4	4	4	4	5	5	5	6	100%	
	再生利用量	1	1	0	1	2	2	2	3	49%	
	減量化量	0	1	1	1	1	1	1	1	19%	
	最終処分量	3	2	2	2	2	2	2	2	32%	
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

〔産業廃棄物統計〕



⑧ 家畜ふん尿

家畜ふん尿の循環利用量等は、産業廃棄物統計より推計されている。

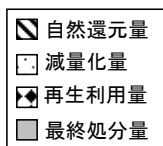
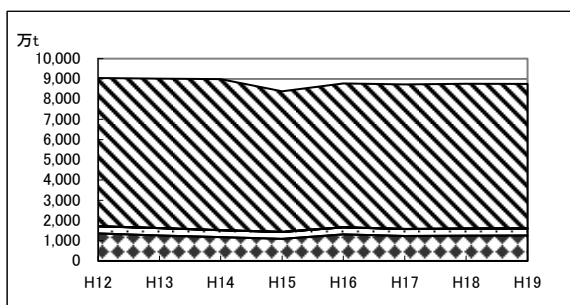
家畜ふん尿は、排出量、再生利用量、最終処分量、自然還元量とも横ばいで推移している。

図表 6-2-8 家畜ふん尿の循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率	
産業統計	排出量	9,049	9,009	8,980	8,394	8,769	8,720	8,757	8,748	100%	
	再生利用量	1,357	1,269	1,181	1,092	1,315	1,237	1,249	1,260	14%	
	減量化量	356	350	345	347	343	340	350	345	4%	
	最終処分量	4	4	4	3	4	4	4	4	0%	
	自然還元量	7,332	7,387	7,450	6,952	7,107	7,139	7,155	7,139	82%	

〔産業廃棄物統計〕



⑨家畜の死体

家畜の死体の循環利用量等は、産業廃棄物統計より推計されている。

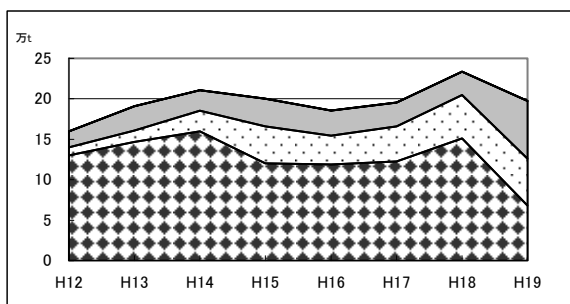
家畜の死体は、排出量、再生利用量、最終処分量ともほぼ横ばいで推移している。

図表 6-2-9 家畜の死体の循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率	
産業統計	排出量	16	19	21	20	19	20	23	20	100%	
	再生利用量	13	15	16	12	12	12	15	7	35%	
	減量化量	1	1	3	5	4	4	5	6	29%	
	最終処分量	2	3	3	3	3	3	3	7	36%	
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

[産業廃棄物統計]



■ 最終処分量 □ 減量化量 ◆ 再生利用量

⑩もみがら、稲わら、麦わら

もみがら、稲わら、麦わらの循環利用量等は、その他統計より推計されている。

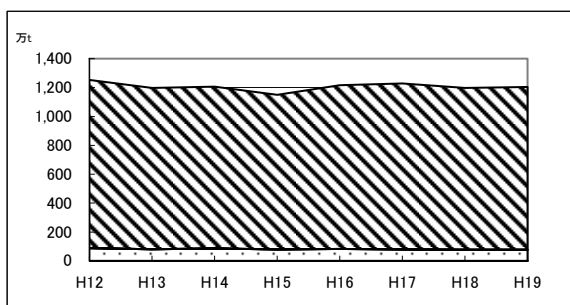
もみがら、稲わら、麦わらは、排出量、自然還元量ともほぼ横ばいで推移している。

図表 6-2-10 もみがら、稲わら、麦わらの循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率	
その他統計	排出量	1,252	1,197	1,205	1,150	1,216	1,229	1,197	1,203	100%	
	再生利用量									0%	
	減量化量	88	82	88	79	84	79	78	77	6%	
	最終処分量									0%	
	自然還元量	1,165	1,115	1,117	1,071	1,132	1,150	1,119	1,126	-	

[産業廃棄物統計]



▨ 自然還元量 □ 減量化量



(2)非鉄金属鉱物系の循環利用量の推移

①ガラス、陶磁器くず

ガラス、陶磁器くずの循環利用量等は、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計とガラスびん等に関するその他の統計データから推計されている。

全体では、ここ数年、排出量、再生利用量とも横ばいの傾向となっている。

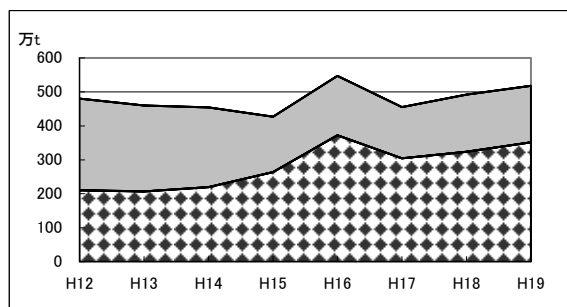
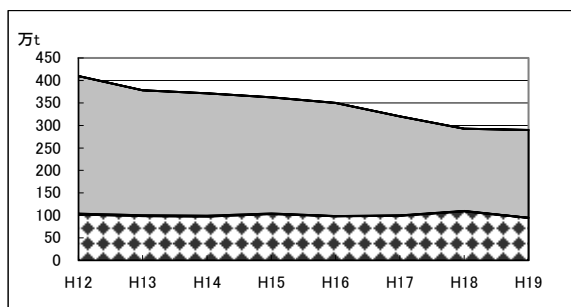
図表 6-2-11 ガラス、陶磁器くずの循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率	構成比
一般統計	排出量	410	378	372	363	350	320	293	290	100%	29%
	再生利用量	102	99	98	103	98	99	109	95	33%	15%
	減量化量	2	2	1	1	1	1	0	0	0%	100%
	最終処分量	306	278	272	258	251	220	183	195	67%	54%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
産業統計	排出量	480	461	454	427	547	456	492	518	100%	52%
	再生利用量	210	207	219	264	372	305	324	352	68%	56%
	減量化量	1	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%
	最終処分量	269	254	235	163	175	151	168	166	32%	46%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他統計	排出量	457	253	220	219	219	205	171	183	100%	18%
	再生利用量	457	253	220	219	219	205	171	183	100%	157%
	減量化量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最終処分量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	排出量	1,347	1,092	1,046	1,009	1,117	980	956	991	100%	100%
	再生利用量	769	559	537	587	689	609	604	630	64%	100%
	減量化量	3	2	1	1	1	1	0	0	0%	100%
	最終処分量	575	531	508	421	426	371	351	361	36%	100%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

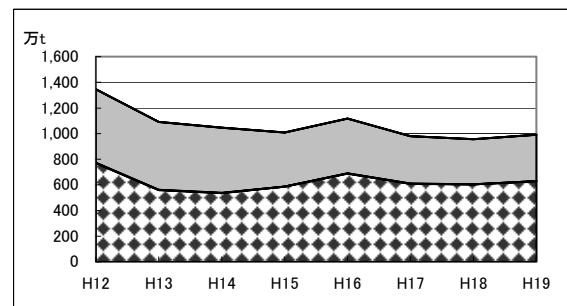
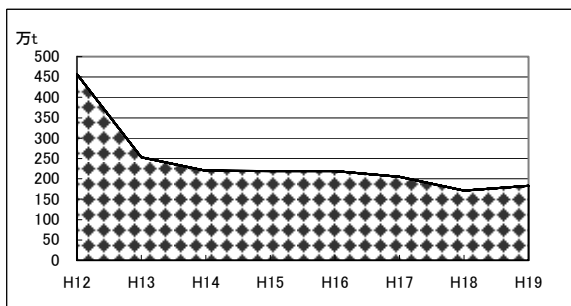
〔一般廃棄物統計〕

〔産業廃棄物統計〕



〔その他の廃棄物統計〕

〔全体〕



■ 最終処分量    □ 減量化量    ▨ 再生利用量

注) 〔その他の廃棄物統計〕 データは、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

②燃え殻

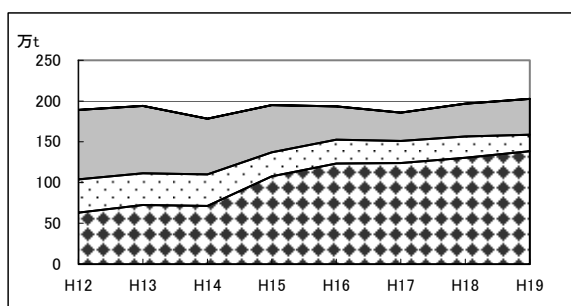
燃え殻の循環利用量等は、産業廃棄物統計とその他の統計データから推計されている。  
 全体では、ここ数年、排出量、再生利用量とも横ばいの傾向となっている。

図表 6-2-12 燃え殻の循環利用量等の推移

(単位:万t)

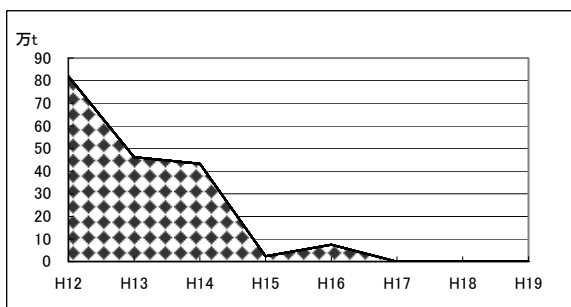
平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率	構成比
		産業統計	排出量	189	194	178	195	194	186		
	再生利用量	63	73	71	108	123	124	130	138	68%	100%
	減量化量	41	39	39	30	29	27	26	20	10%	100%
	最終処分量	85	83	68	58	41	35	40	44	22%	100%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他統計	排出量	82	46	43	2	8	0	0	0	-	-
	再生利用量	82	46	43	2	7	0	0	0	-	-
	減量化量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最終処分量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	排出量	271	240	222	197	201	186	197	203	100%	100%
	再生利用量	145	119	115	110	131	124	130	138	68%	100%
	減量化量	41	39	39	30	29	27	26	20	10%	100%
	最終処分量	85	83	68	58	41	35	40	44	22%	100%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

〔産業廃棄物統計〕

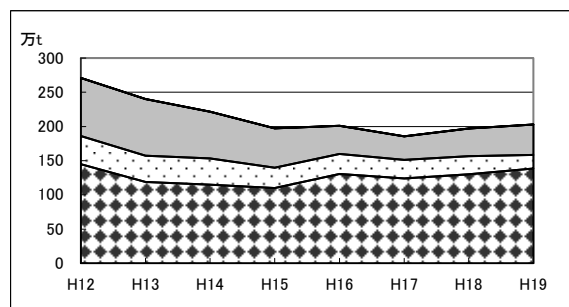


■ 最終処分量 □ 減量化量 ◆ 再生利用量

〔その他の廃棄物統計〕



〔全体〕



注) 〔その他の廃棄物統計〕 データは、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

③ばいじん

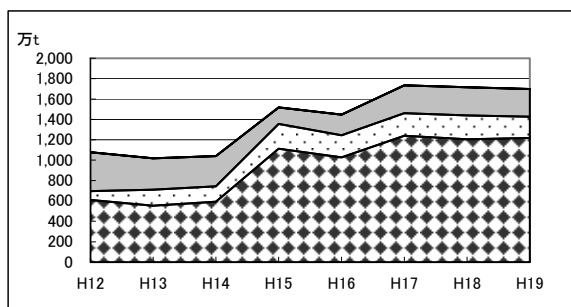
ばいじんの循環利用量等は、産業廃棄物統計とその他の統計データから推計されている。  
全体では、排出量、再生利用量とも微増の傾向となっている。

図表 6-2-13 ばいじんの循環利用量等の推移

(単位:万t)

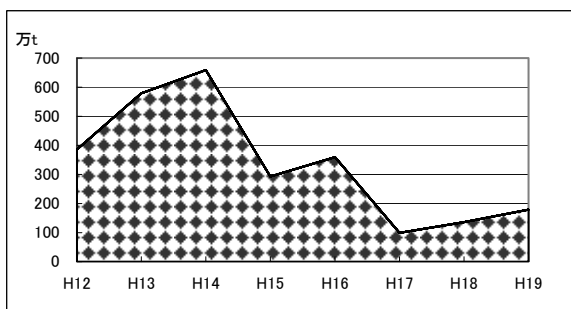
平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率	構成比
産業統計	排出量	1,077	1,018	1,041	1,519	1,447	1,734	1,714	1,696	100%	90%
	再生利用量	611	552	592	1,113	1,029	1,240	1,205	1,218	72%	87%
	減量化量	84	159	151	242	215	222	235	210	12%	100%
	最終処分量	382	307	298	164	203	272	273	269	16%	100%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他統計	排出量	386	579	658	293	359	99	136	180	-	-
	再生利用量	386	579	658	293	359	99	136	180	-	-
	減量化量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最終処分量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	排出量	1,463	1,598	1,699	1,812	1,806	1,833	1,850	1,876	100%	100%
	再生利用量	997	1,132	1,251	1,406	1,388	1,339	1,342	1,398	75%	100%
	減量化量	84	159	151	242	215	222	235	210	11%	100%
	最終処分量	382	307	298	164	203	272	273	269	14%	100%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

〔産業廃棄物統計〕

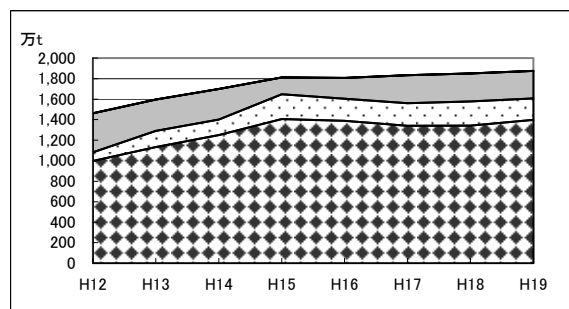


■ 最終処分量    □ 減量化量    ◆ 再生利用量

〔その他の廃棄物統計〕



〔全体〕



注) 〔その他の廃棄物統計〕 データは、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

④ 鉍さい

鉍さいの循環利用量等は、産業廃棄物統計とその他の統計データから推計されている。

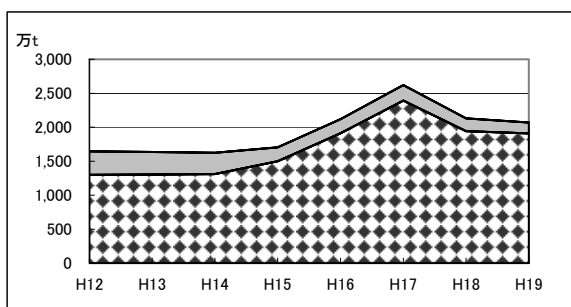
鉍さいは、主に鉄鋼業等から発生するものであり、再生利用量は、排出量の変動と同様に推移している。

図表 6-2-14 鉍さいの循環利用量等の推移

(単位:万t)

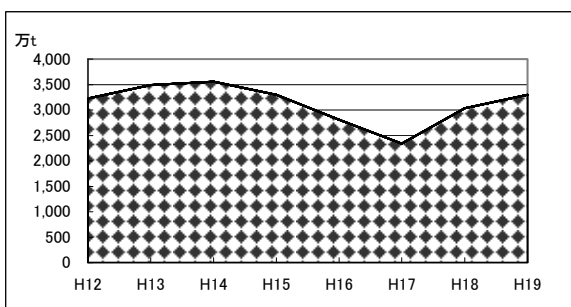
平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率	構成比
産業統計	排出量	1,645	1,635	1,625	1,704	2,119	2,619	2,129	2,072	100%	39%
	再生利用量	1,298	1,303	1,309	1,498	1,912	2,391	1,940	1,908	92%	37%
	減量化量	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	
	最終処分量	347	332	316	205	207	228	189	164	8%	100%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他統計	排出量	3,229	3,491	3,554	3,302	2,809	2,340	3,037	3,300	-	-
	再生利用量	3,229	3,491	3,554	3,302	2,809	2,340	3,037	3,300	-	-
	減量化量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最終処分量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	排出量	4,874	5,126	5,179	5,006	4,929	4,959	5,166	5,372	100%	100%
	再生利用量	4,527	4,794	4,863	4,800	4,721	4,731	4,977	5,208	97%	100%
	減量化量	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	
	最終処分量	347	332	316	205	207	228	189	164	3%	100%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

〔産業廃棄物統計〕

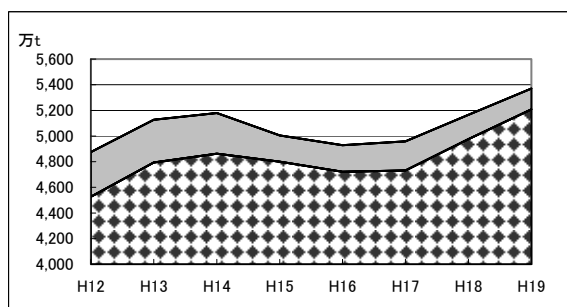


■ 最終処分量 □ 減量化量 ● 再生利用量

〔その他の廃棄物統計〕



〔全体〕



注) 〔その他の廃棄物統計〕 データは、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

⑤上水道汚泥

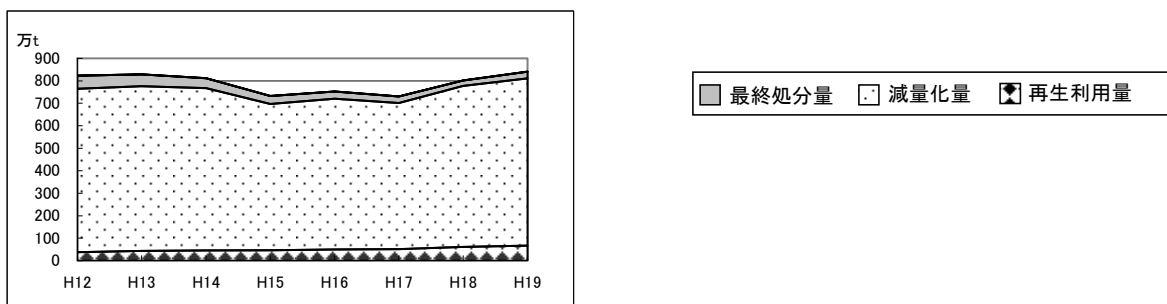
上水汚泥の再生利用量は、排出量の変動と同様に推移している。最終処分量は、減少傾向となっている。

図表 6-2-15 上水道汚泥の循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率
産業統計	排出量	823	829	812	733	753	730	802	841	100%
	再生利用量	38	43	46	47	50	51	61	67	8%
	減量化量	727	733	722	650	671	650	716	744	89%
	最終処分量	58	53	45	36	32	29	25	30	4%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[産業廃棄物統計]



⑥がれき類

がれき類の循環利用量等は、産業廃棄物統計から推計されている。

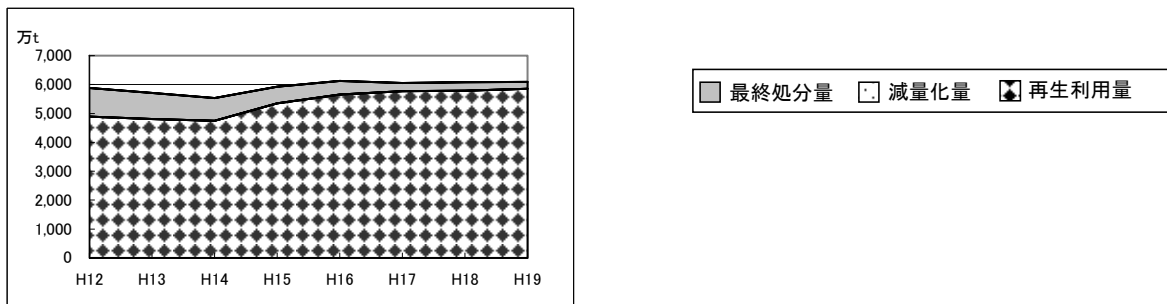
排出量は、横ばい傾向であるが、再生利用量は増加、最終処分量は減少傾向で推移している。

図表 6-2-16 がれき類の循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率
産業統計	排出量	5,883	5,710	5,536	5,925	6,122	6,056	6,082	6,090	100%
	再生利用量	4,895	4,803	4,742	5,353	5,655	5,765	5,785	5,855	96%
	減量化量	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	最終処分量	988	907	795	572	467	291	297	235	4%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[産業廃棄物統計]



⑦廃酸、廃アルカリ

廃酸、廃アルカリの循環利用量等は、産業廃棄物統計から推計されている。

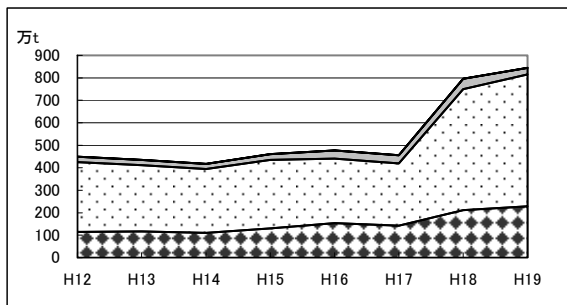
排出量は、平成18年度に大幅に増加しており、この増加にあわせて、再生利用量、最終処分量も増加となっている。

図表 6-2-17 廃酸、廃アルカリの循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率
産業 統計	排出量	450	435	417	460	478	456	797	844	100%
	再生利用量	115	117	111	130	154	143	211	229	27%
	減量化量	310	294	284	305	287	277	537	587	70%
	最終処分量	25	24	22	25	37	36	48	28	3%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[産業廃棄物統計]



■ 最終処分量 □ 減量化量 ▨ 再生利用量

### (3) 金属系の循環利用量の推移

金属の循環利用量等は、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計とスクラップに関するその他の統計データから推計されている。

全体では、排出量の微増減で推移しており、同様に再生利用量にも推移している。なお、最終処分量は減少傾向で推移している。

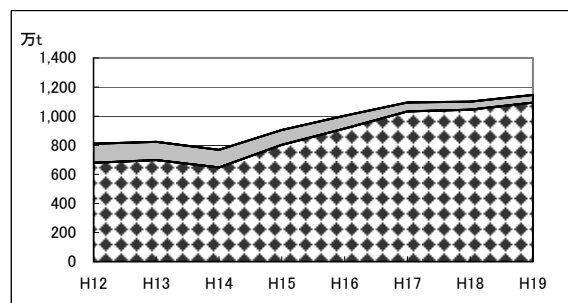
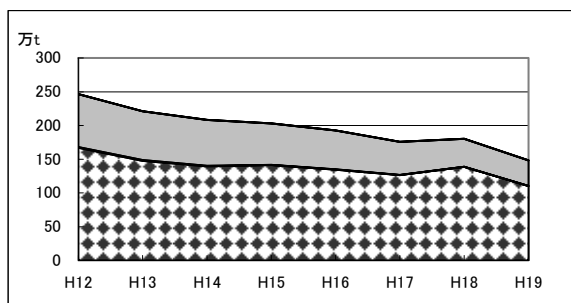
図表 6-2-18 金属の循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率	構成比
一 廃 統 計	排 出 量	247	221	208	203	193	176	180	148	100%	3%
	再 生 利 用 量	167	148	140	141	135	127	139	110	74%	3%
	減 量 化 量	1	1	1	1	0	0	0	0	0%	100%
	最 終 処 分 量	78	73	68	61	57	49	42	38	25%	42%
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
産 業 廃 棄 統 計	排 出 量	810	823	768	904	1,004	1,095	1,100	1,146	100%	27%
	再 生 利 用 量	680	698	648	804	916	1,033	1,045	1,094	95%	26%
	減 量 化 量	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%
	最 終 処 分 量	130	126	120	101	88	61	55	53	5%	58%
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 統 計	排 出 量	3,127	2,713	3,055	2,900	2,840	2,636	2,395	3,029	100%	70%
	再 生 利 用 量	3,127	2,713	3,055	2,900	2,840	2,636	2,395	3,029	100%	102%
	減 量 化 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最 終 処 分 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	排 出 量	4,184	3,758	4,032	4,007	4,037	3,906	3,676	4,324	100%	100%
	再 生 利 用 量	3,974	3,558	3,843	3,845	3,891	3,796	3,579	4,233	98%	100%
	減 量 化 量	1	1	1	1	0	0	0	0	0%	100%
	最 終 処 分 量	208	198	188	162	145	110	97	90	2%	100%
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

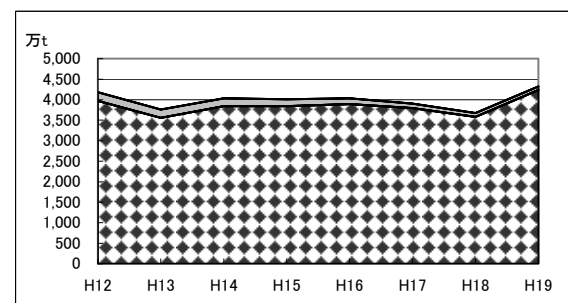
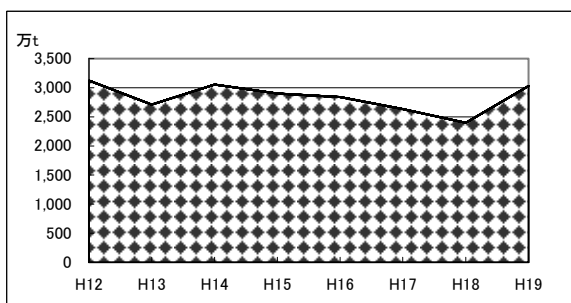
〔一般廃棄物統計〕

〔産業廃棄物統計〕



〔その他の廃棄物統計〕

〔全体〕



■ 最終処分量    □ 減量化量    ▨ 再生利用量

注) 〔その他の廃棄物統計〕 データは、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

(4) 化石系の循環利用量の推移

①プラスチック（ペットボトルを含む）

プラスチック（ペットボトルを含む）の循環利用量等は、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計とその他の統計データから推計されている。

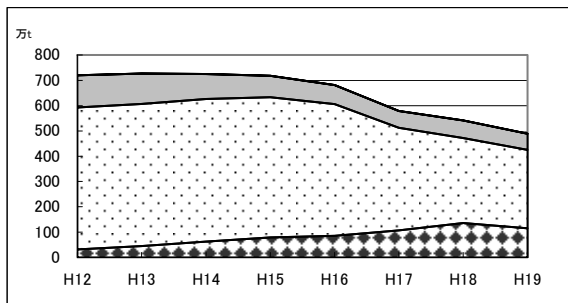
全体では、排出量は平成15年度以降、減少傾向にある。なお、再生利用量は増加、最終処分量は減少傾向で推移している。

図表 6-2-19 プラスチック（ペットボトルを含む）の循環利用量等の推移

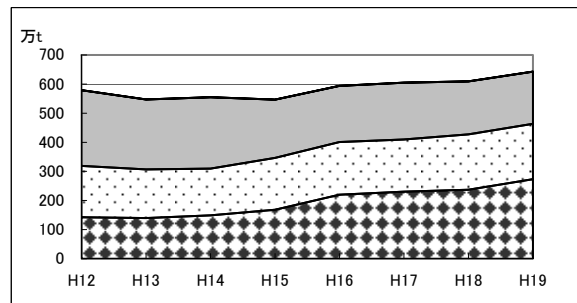
(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率	構成比
一 廃 統 計	排 出 量	720	726	725	718	681	579	541	488	100%	43%
	再 生 利 用 量	31	45	62	80	86	107	136	115	23%	30%
	減 量 化 量	562	561	564	553	520	405	336	311	64%	62%
	最 終 処 分 量	127	120	98	85	76	67	69	63	13%	26%
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
産 業 廃 棄 統 計	排 出 量	579	547	555	546	594	605	609	643	100%	57%
	再 生 利 用 量	142	140	149	168	220	230	237	273	42%	70%
	減 量 化 量	177	167	160	179	181	180	191	191	30%	38%
	最 終 処 分 量	260	240	246	200	193	195	182	179	28%	74%
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 統 計	排 出 量	0	113	130	64	37	0	4	0	-	-
	再 生 利 用 量	0	113	130	64	37	0	4	0	-	-
	減 量 化 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最 終 処 分 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	排 出 量	1,299	1,387	1,410	1,329	1,313	1,184	1,155	1,131	100%	100%
	再 生 利 用 量	173	298	341	312	343	337	377	388	34%	100%
	減 量 化 量	739	728	725	732	701	585	527	501	44%	100%
	最 終 処 分 量	387	361	344	285	269	262	251	242	21%	100%
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

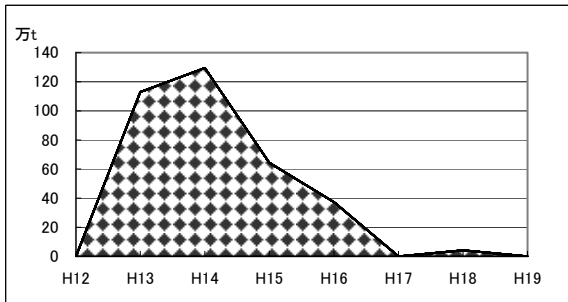
〔一般廃棄物統計〕



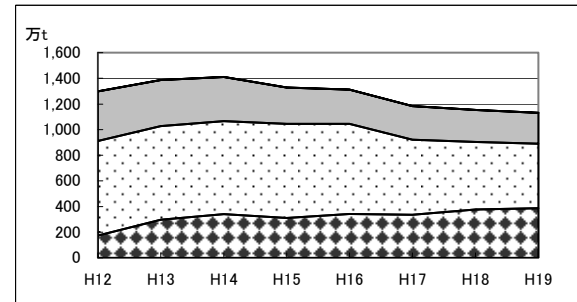
〔産業廃棄物統計〕



〔その他の廃棄物統計〕



〔全体〕



■ 最終処分量    □ 減量化量    ▨ 再生利用量

注) 〔その他の廃棄物統計〕 データは、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。



②廃油

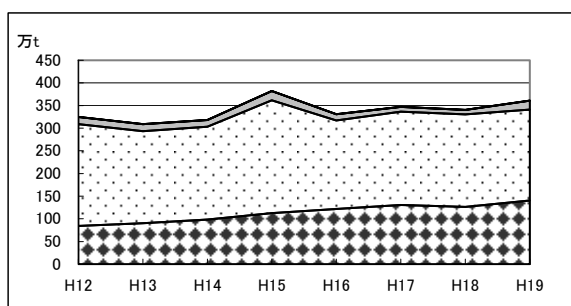
廃油の循環利用量等は、産業廃棄物統計とその他の統計データから推計されている。  
全体では、排出量は横ばいで推移している。

図表 6-2-20 廃油の循環利用量等の推移

(単位:万t)

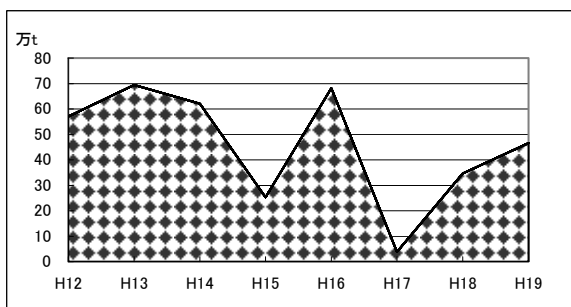
平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	処理率	構成比
		産業統計	排出量	325	309	319	382	331	347		
	再生利用量	84	90	98	112	122	130	126	140	39%	75%
	減量化量	225	203	205	249	196	206	205	201	56%	
	最終処分量	16	15	15	20	14	10	10	20	6%	100%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他統計	排出量	57	70	62	25	68	4	35	47	-	-
	再生利用量	57	70	62	25	68	4	35	47	-	-
	減量化量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最終処分量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	排出量	382	378	381	407	399	351	375	408	100%	100%
	再生利用量	141	160	160	138	190	134	161	187	46%	100%
	減量化量	225	203	205	249	196	206	205	201	49%	
	最終処分量	16	15	15	20	14	10	10	20	5%	100%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

〔産業廃棄物統計〕

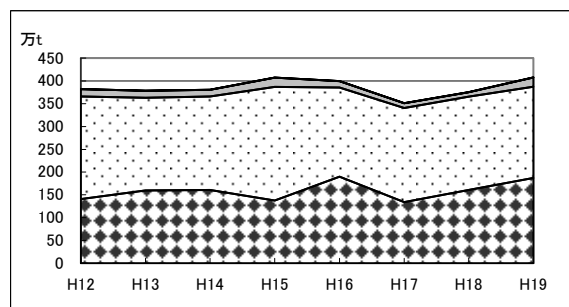


■ 最終処分量    □ 減量化量    ▨ 再生利用量

〔その他の廃棄物統計〕



〔全体〕



注) 〔その他の廃棄物統計〕 データは、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。